

ジョージア関係の話題2つ  
映画「金の糸」上映（八丁座、2022.5.6～）の機会に

- 1、 第二次世界大戦後シベリア抑留の日本兵の何人かがジョージア（当時グルジア）に送られた。そこで、日本兵はグルジア人に親切にもらった。その理由は、日露戦争時、松山にあったロシア人捕虜収容所で、ロシア兵が日本人に親切にもらったお礼。すなわち、松山のロシア兵の中にはグルジア出身の人もいたということ。
- 2、 現在の駐日ジョージア大使は、4～8歳まで東広島市で過ごした。父親が広島大学に留学していたので。その父親の広島大学留学は、東広島市在住の産婦人科医師・角谷哲司先生が関与。

下記サイト参照：

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/nharano/TakemotoGeorgea.pdf>

上記サイトの上の方の原稿（「シュクメルリから父を想う」）の執筆者（竹本百代さん）は、原野の東広島市西条でのフランス語勉強会仲間。上の新聞記事に出てくる元日本兵は彼女の父親。

下の新聞記事に出てくる角谷夫妻は、原野の親しい人。